

令和6年度地区懇談会（中央地区、札内・来馬地区） 議事録（概要）

令和6年10月18日（火） 18:00～19:30

鉄南ふれあいセンター 出席者14名

4. 市からの情報提供：中央地区のまちづくりについて

質問：常盤町内会

- ・ 庁舎の跡地利用について様々な意見が出てきているようだが、バスターミナルの設置という意見が出てきていないように思われる。今の市役所庁舎と消防庁舎、極端に言えばその裏手の数件の民家も移転すれば、十分にバスターミナルを作れると思う。それを上手く利用して市営プールまで路線を繋げていけば、周辺の交通網も良くなるのではないか。バスターミナルの中には民間の商業施設を誘致すれば、市も投資をしなくて済むのではないかと考える。ただ土地を売ってしまうのではなく、市が土地を所有しながら、上物を作って民間と併存していければ良いのではないか。

回答：総務部

- ・ 参考意見とさせていただきたい。バスターミナルの設置という話も出たことはあるが、バス事業者も人手不足等で現状の路線の維持にも困っている状況であり、他の観点からも協議しているところではあるが、なかなか便数を増やすような状況にはないと聞いている。ご質問の中に市役所による投資ではなく民間の投資を促すという話もあったが、我々もそのように考えている。できるだけ市の負担を伴わない形でまちづくりができないかと考えているところである。複合施設のようなものも考えられるところであり、今回のご意見も参考に検討していきたい。

質問・意見：中央町内会

- ・ 1点目は、市役所跡地の土地は市で所有するのか、民間に売却するのか。2点目は、提言書ではアーニス内に図書館を移転してはどうかという話が出ているが、私は反対である。図書館というのは静かな環境でもって皆さんが本を読んだり勉強をしたりする場所であり、商業施設の中というのは不適切だと思う。また、アーニスという一企業に対して市の財政を投入するという事に対しても反対である。市役所新庁舎や消防新庁舎の建設でお金を使っており、今後20年、25年と新しい建物が建てられないことはわかるが、東保育所についても、市役所を山側に持っていくなら子どもたちについても高いところに持っていくべきではないか。子どもたちの命を救うという事を真剣に考えてもらいたい。

回答：総務部

- ・ 1点目について、現庁舎跡地については協議会の方から提言書はいただいたが、市の方向性はこれから考えていくところである。民間への売却、貸し出しなど、様々なパターンが考えられるため、現状において決まっているものはない。

- ・ 2点目について、同様の意見は協議会の中でも様々いただいたが、あくまでも協議会としてはまちづくりの観点から、アーニスに移転していただければ、アーニス、中央地区、周辺商業地域のにぎわいに繋がるのではないかとという事で提言をいただいた。図書館としてふさわしいのかというお話もいただいたが、その点については教育委員会が主体となり、検討委員会が開催されているため、最終的には協議内容を踏まえて、市も含めて検討していくことになる。

回答：教育委員会

- ・ 図書館については6月に中間提言をいただき、7月上旬に市内3箇所で意見交換会を実施したところであり、新聞報道や市議会でのやり取りにもあったとおり、賛否両論いただいているところである。現在、図書館の整備検討委員会というものを10月に立ち上げ、10月4日に第1回を開催、今月末にも第4回を予定している。公募の方も含めた17名の委員の方から様々な意見をいただきながら協議をしているところであり、それも踏まえながら引き続き、教育委員会としての方向性を考えていきたい。

質問・意見：中央町内会

- ・ 教育委員会の考えは理解した。
- ・ 新庁舎周辺の現在の道幅が狭いのではないかと感じる。もう少し拡幅すべきでないか。また、現在、登別駅と登別温泉ターミナルを往復している路線バスがあるが、それを幌別駅まで延伸してはどうか。そうすれば地域住民も乗るし、バス事業者の収益改善にもつながるのではないか。そのためにも拡幅について考えてほしい。
- ・ 高速道路について、登別東と登別室蘭の2箇所のインターチェンジがあるが、更に常盤町、柏木町あたりにも作ってもらってはどうか。そうすると、観光客が商業施設などに流れてくるのではないか。苫小牧市がやったような、市街の中心地に下りるような形を考えていただければと思っている。

回答：総務部

- ・ 新庁舎周辺の道路整備について、新庁舎の横、ファミリーマート側の道路については通学路という事もあり、新庁舎の整備に合わせて歩道を付ける予定となっている。

質問：中央町内会

- ・ アーニスの駐車場に入る道路の一方通行を解除して双方向にした方がよいのではないかと話があるが、周りの人からは解除してはダメだという話が出ている。もしやるのであれば拡幅が必要と考える。

回答：市民生活部

- ・ そういった話は初めて聞いた。もし地域としてそのような要望があれば、地区課題として正式に要望いただければ警察や道路管理者も含めて検討することになると思う。今

現在としてはそのような話を聞いていないことから、現状維持で考えている。

意見：中央町内会

- ・ ざっくばらんに申し上げて、来週月曜日、周りの町内会長と警察を交えて、検討する機会を持ちたいという話がある。同場所には、道幅が狭いことや、冬になって除雪をする際、一方向に積み上げてしまうため歩道が通れなくなるという問題がある。また、一方通行の進入禁止という標識が設置されているが、もう少し大きいもの、目立つものに代えてもらえればわかりやすくなるのではないか。

4. 市からの情報提供：道道上登別室蘭線の改良事業第2工区について

質問：常盤町内会

- ・ 第1工区の際、工事中に1～2年ほどセメント再生材を使った砂利道の状態が続いた。その2年の間でセメントの粉が舞い上がったり、雨が降った際にドロドロになったりした。私の家でも、水では洗い流せないくらい、インターロッキングにセメントが入り込み、北海道に何度も文句を言った。リサイクル材料を使うのは結構だが、周辺への影響を考えると、最初から通常の碎石を使うか、リサイクル材料の上に通常の碎石を敷くなどしてほしい。
- ・ 第1工区の中で、市の取り付け道路とレベルが合わないところが今もある。地域要望の中でも出させてもらっているが、雨が降った後、かなり水たまりが深く、通りにくいという箇所が何か所かある。雨水用のマンホールが近くにあるので、それを改良してちょっと下げて目皿にしていただければ良いのかと思うが、その辺を加味しながら工事を進めていただければと思う。

回答：都市整備部

- ・ 第1工区の際、確かにしばらく砂利道の場所があった。そういった場合、先ほどおっしゃられた通り通常の碎石を使ったり、早期に舗装してしまうなど、改めて北海道の担当の方に伝えていきたい。市道の取り付け部分について、雨水が溜まることは我々も把握しており、北海道に対して強く申し入れていたところであるが、今年の11月頃には工事が出来るのではないかという回答があったので、もうしばらくお待ちいただければと考えている。

質問：常盤町内会

- ・ 道路が広くなり、子どももお年寄りも安心して歩けるようになったと大変うれしく思っている。第1工区について、起工時には平成27年から平成31年という説明があったと思うが、終わったのは令和4年となった。その間、遅れることや、いま何をやっている、という説明が全然なかった。待っている人にとっては、当初の期間でやってもらわないと色々準備などあり、変更があれば逐次連絡をいただければと思う。
- ・ 第1工区の起点付近のカーブでは2箇所ほどマンホールが下がっている。そこを通ると

車がかなり落ちるという状況になっているため、きちんとした道路を作ってもらいたい。また、地区要望でも挙げたが、歩道にひび割れがある。第1工区は半分ずつ業者が変わっていたと思うが、起点側の方がひどく、後半の方はそれほどひび割れしていない。業者の技術に問題があったのではないかと素人ながら思う。

回答：都市整備部

- ・ 事業の期間が変わったら説明させていただくというのは当然のことだと思う。第2工区に関しても予算の関係上、伸びる可能性もあるが、判明し次第、町内会の方に説明したいと考えており、北海道にもその旨を伝えて一緒に説明をしていきたいと考えている。それが回覧になるのか、説明会になるのか、また改めて協議させていただきたい。
- ・ 起点側のカーブのマンホールや歩道のひび割れについては、改めて確認した上で対処したい。技術的な問題かという事はわかりかねるが、しっかりと北海道にも伝えたいと考えている。道路に不備等があれば今回の件に限らず、資料の方にもある通り市役所にご連絡いただきたい。

5. 市長5期目におけるまちづくりについて

質問・意見：常盤町内会

- ・ ゼロカーボンについて、2008年の洞爺湖サミットの際、当時の環境大臣に、日本では膨大な資金を投じて原子力発電所の建設や使用済み核燃料の処理の研究をしてきたが、日本全国には一般家庭がおおよそ6,500万戸あり、原子力に向けていた資金でその1戸1戸に補助金を出してソーラーパネルを付ければ良かったのではないかと質問したが、原発は我々の政策だという返答で終わってしまった。現在、登別市内のあちこちにソーラー発電所がつくられており、悪い面も一部あるかもしれないが、一般家庭に対しては補助制度を拡充することで、ゼロカーボンがより進むのではないかと考えている。皆さんが利用しやすいような補助制度をご検討いただきたい。
- ・ 幌別東小学校が廃止になるため、さみしい地域になってしまうということから、例えば職業訓練校を跡地に移転すれば良いのではないかと。
- ・ ふるさと納税について、自分はスキー場の管理を担当しており、スキー場の施設整備を定期的にやってほしいが、市の予算措置が難しい場合はふるさと納税をどんどん進めてもらうか、もしくはクラウドファンディングでも始めようかと考えていた。今、修学旅行での利用が13校まで減少している一方、ルスツスキー場のリフト代が値上がりし、バス代も高くなったことで、室蘭の高校がサンライバススキー場を利用することになった。来年は、苫小牧の高校も利用するような話も出ている。そのような状況があるので、スキー場単体で考えるのではなく、市民の健康管理、経済効果、雇用効果など加味した中でやってほしい。
- ・ 津波避難時の線路横断について、昔、線路を高架橋にしようという話があった。高架橋にすれば、線路の下を通れるため市民が山側に逃げやすくなるので、国に陳情や要請をしていただきたい。これは登別だけではなく、室蘭、苫小牧も含めた海沿いの地域全般の話

なので検討いただきたい。

回答：市長

- ・ 幌別東小学校について、7年か8年ほど前、幌別東小学校と幌別小学校の統合の話は一切なかったときに、技能協会と職業訓練協会の方に、幌別東小学校のような立地に移転することは可能か話したことがある。職業訓練校がある場所は高台としては一等地であり、東日本大震災以降、高台に行政の機能を移転させる話が持ち上がっていた。その一環で話をしたところ、海沿いには絶対に行かないと回答され、今に至っている。幌別東小学校の跡地については、耐震化している施設でもあり、情報をいただきながら、上手に有効活用をさせていただきたい。
- ・ ふるさと納税の関係は、スキー場に対してしっかりとリフトの件などをやると言い切ったので、スキー場の集客につながるようにしていきたい。17校以上あった修学旅行も四国、九州、沖縄と減ってしまい、将来的にはインバウンドのスキー初心者の人達が、スキーだけでなくソリやタイヤで遊ぶなどといったところにもお金を使っていただければと思っている。そのためにはパトロールの方々やスキー連盟の皆さま方のお力添えをお借りしながら取り組んでいきたい。
- ・ 線路の高架化の陳情について、良い案だと思う。姉妹都市である海老名市では、小田急線が複々線化して全て高架橋になった。ＪＲ北海道がこれをやるのは、黒字化という意味では難しいため、国に対して要望する理由付けということを考えていかなければならない。話題としてはすごく良い案なので、どこかの場面で出していけるようにしたい。

質問：常盤町内会

- ・ 昨年の地区懇談会の時、津波発生時には、幌別地区では7,000人ほどが高台に逃げるという話があったが、その7,000人がどのように生きながらえるのかという点を聞いていなかった。

回答：市長

- ・ 数年前に立地適正化計画というものを作成し、それによって国からの補助を得られたため色々なことをやった。その中で、将来的には市役所庁舎を旧陸上競技場の方へ持っていきたいという流れになり、原資として緊急防災・減災事業債を活用できないか考えた。その際、登別市には発災から39分で津波が到達するというものであったため、39分で新庁舎に到達できる人がどの地域から何人いるかと考えたときに、1秒間80cmという平均歩行速度から求めると7,000人という数字が出てきたことから、7,000人で国に要望したが、却下された。その後、都市防災という補助も利用できず、都市再生という補助を利用することになった。高台に逃げられる人は何人かという根拠が難しかったことから、昨年、個別避難計画を作り、支援が必要な人が何人いるかという形に切り替えた。このことから、人数的には7,000人というのが基本的な考え方ではあるが、まだ個別避難計画の作成中であるため、実際の人数は現時点ではわからない。ＪＲ北海道との協議で線路を横断して良

いとなった時点で、そこを使ったら何人逃げられるか、という事をまとめて最終の人数にしていきたいと考えており、それが来年くらいまでにわかるかと思う。

質問：常盤町内会

- ・ せっかく避難した 7,000 人がどう生きながらえるのか、その点を市長がどのように考えているのか。もし国の予算がつかないのであれば、高台の住宅の余剰スペースに入れたり、そのようなことも考えていかなければ、せっかく避難した人たちが命を落とすのではないか。

回答：市長

- ・ その点についてはもう考えがあり、第 1 次、第 2 次、第 3 次というところまで実は考えている。第 1 次は 39 分以内にみんなが逃げられるのか、第 2 次は 24 時間以内に何をすべきか、第 3 次は 72 時間以内にどうするか、という形になっている。幌別地区の場合では、新庁舎と幌別中学校に何人が何泊できるかというのを考える。また別の考えとして、1 泊し、実際には食料の問題や寒さの問題をしのげるのは登別温泉地区のホテルだけなので、札内の裏道やカルルス経由で登別温泉に行く。富岸地区であればシノハラゴルフセンターまで 39 分で逃げて、その後は高速道路をつかって登別東インターチェンジまで行って登別温泉に行く。鶯別・若草地区では室蘭工業大学と東翔高校に逃げるという考えがある。また、海側と山側の話、例えば千歳町 3 丁目の約 100 世帯のうち、何世帯がウチに泊まっていよいよと言ってくれるかという話し合いもこれからするところとなっている。これまで情報不足で申し訳ないが、これからはそのような形でやっていきたい。